

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 課題番号19520112

『17世紀フランスにおけるイエズス会の挿絵本と絵画の
関係についての総合的研究』 研究報告書

研究代表者 木村 三郎

研究分担者 小野崎 康裕

栗田 秀法

安室 可奈子

目次

木村 三郎「フィリップ・ド・シャンパーニュ作《煉獄の魂》について」(『日本大学芸術学部紀要』2010年、52号、p.57-68 所収)

木村 三郎「アンドレ・フェリビアン著「フィリップ・ド・シャンパーニュ伝」……一六二〇—四〇年代における宗教画制作を視点に考える」(『日本大学芸術学部紀要』2010年、51号、p.39-54 所収)

小野崎 康裕「図像着想源としての《ヒエログリフィカ》—ピエリオ・ヴァレリアーノとフィリップ・ド・シャンパーニュ—」

栗田 秀法「ニコラ・プッサン作《マナの収集》の最近の研究動向—時間表現、意味構造をめぐって—」(『名古屋芸術大学研究紀要』2009年、130号、p.97-115 所収)

安室 可奈子「リヨン市立図書館に寄託された、フォンテーヌ図書館所蔵イエズス会コレクションについて」